

【新たな資産の申告については、このページの記入例をご覧ください。】

『種類別明細書（増加資産・全資産用）』は、新たな資産の取得や移動による受入れ等で、申告が必要な資産の記入に使用します。

令和 4 年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名				第二十六号様式別表一(提出用)				
※ 所有者コード												株式会社 町田シティ美容室				枚のうち				
60123456																枚目				
① 資産の種類	② 資産コード	③ 資産の名称等	④ 数量	⑤ 取得年月			⑥ 取得価額				⑦ 耐用年数	⑧ 減価残存率	⑨ 価額				⑩ 課税標準の特例コード	⑪ 課税標準額	⑫ 増加事由	⑬ 摘要
				年号	年	月	十	百	千	円			十	百	千	円				
01	1	外構工事	1	5	3	5	1	280	000	15	0.							2		
02	2	機械式駐車設備	1	4	19	3	2	500	000	10	0.							1・2 3・4	H20年度中古 品、前15年	
03	6	パーティション一式	1	4	30	5	1	000	000	8	0.							1・2 3・4	H31年度 中古品	
04	6	椅子	3	4	24	5	600	000	5	0.								1・2 3・4	東京店より	
05	6	レジスター	2	5	3	8	680	000	5	0.								1・2 3・4		
06	6	机	1	5	3	3	140	000	2	0.								1・2 3・4	中古品	
07				5						0.								1・2 3・4		
08				5						0.								1・2 3・4	記入の必要はありません。	
09				5						0.								1・2 3・4		
10		資産コードの記入は必要ありません。								0.								1・2 3・4	ただし、電算処理による申告を行う場合は、記入してください。(電算申告については、町田市ホームページをご覧ください。)	
11				5						0.								1・2 3・4		
12				5						0.								1・2 3・4		
13				5						0.								1・2 3・4		
14				5						0.								1・2 3・4		
15				5						0.								1・2 3・4		
16				5						0.								1・2 3・4		
17				5						0.								1・2 3・4		
18				5						0.								1・2 3・4		

注意 「増加事由」の欄は、1. 新品取得、2. 中古品取得、3. 移動による受入れ、4. その他のいずれかに○印をつけてください。

①	資産の種類に対応する1~6の数字を記入してください。 構築物 (建物附属設備) 1 機械及び装置 2 船舶 3 航空機 4 車両及び運搬具 5 工具、器具及び備品 6
②	資産の数量を記入してください。(面積や重量ではありません。)
③	当該資産の取得年月を記入してください。ただし、1月1日に取得した場合は、その前年の12月を取得年月としてください。 ※年号欄の「5」は令和を意味します。平成の場合は「4」、昭和の場合は「3」に訂正してください。相続による取得の場合、被相続人が取得した年月、金額、耐用年数で記入してください。
④	当該資産の取得価額を記入してください。(引取運賃、荷役費、運送保険料等、その資産を用いるために要した費用を含みます。)
⑤	「減価償却資産の耐用年数に関する省令」(耐用年数省令)に掲げる耐用年数を記載してください。 【耐用年数の改正について】 平成20年度税制改正により耐用年数省令が一部改正されました。この改正に当たる資産は、平成20年までは旧耐用年数で評価額の計算をします。摘要欄に旧耐用年数を記載し(記入例2行目を参照)、該当資産であることがわかるよう申告をお願いします。
⑥	増加事由を補足する内容を記入してください。 例: 市外からの受入れ、申告漏れ、R〇年〇月相続による取得など ※増加事由は欄外の注意書きを参照してください。